



小さいからこそ愛されて、
小さいからこそ誇りに思えること。

軽自動車というと、どんなイメージをお持ちでしょうか？

きっと経済性や利便性といったものが思い浮かぶはずです。

いまSUBARUは、その軽というクルマの価値そのものを変えようとしています。

安くてペナリというだけでなく、小さなボディにもっともっと大きな満足をもたらすこと。

必要なのは、大きさと重さに挑戦するクルマづくりです。

小さくても大きな安心を実現した安全性能。軽量化による低燃費を実現した環境性能。

走る楽しさを心から味わえるドライビング性能。

あらゆる技術がこの大きさの中に凝縮し、いままでにないクオリティを目指しています。

誰でも「かわいい」と思える大きさで、誇りに思える技術の結晶。

それが、これからの小さなクルマの価値になると考えます。

いいクルマとは、あなたが本当に愛せるクルマ、自然に楽しめるクルマのこと。

SUBARUの軽。じっくりつきあってみてください。

SUBARU・軽

Think. Feel. Drive.  **SUBARU**



あらゆるSUBARUがつまってる。
SUBARU・軽 **R1**
●TEN-TOU ●



SMALL CAR?

⚙️ SUPER CAR!?





RADICAL?



CHIC?





PHOTO: R1 チタニウムグレー・メタリック
2灯式HID、レーザーアルゴンターラセクションは
メーカーオプション



小さいクルマから、時代を変えたい。

美しいアーチをえがく、滑らかなワンモーションフォルム。

優れた性能がギュッと凝縮されていることを感じさせる、

張りのあるボディライン。

SUBARU R1がめざしたのは、

軽自動車に属することの価値、そのものを一新すること。

経済性や実用性だけでなく、

センスやクオリティで乗る人と響きあう。

よいデザインとは、美しだけではなくて、

使う人とモノとの関係をよりよくするアイデアに

満ちたモノのことだと、私たちは考えます。

私たちが最初に造った量産車、スバル360のように、

小さなボディに高性能を凝縮した通称“てんとう虫”は、

クルマをより身近なものに変え、

生活や社会に大きな影響を及ぼしました。

それから約半世紀。

“てんとう虫”はふたたび飛び立ちます。

今の時代に、そして今のあなたに

一番ふさわしいスーパースモールカーであるために。



2005-2006
グッドデザイン賞

SUBARU R1は、財団法人日本産業デザイン振興会
主催の2005年度グッドデザイン賞に選ばれました。
※2005年10月、SUBARU R1 R1にて受賞。

INNOVATION



スバル360

NEXT
INNOVATION

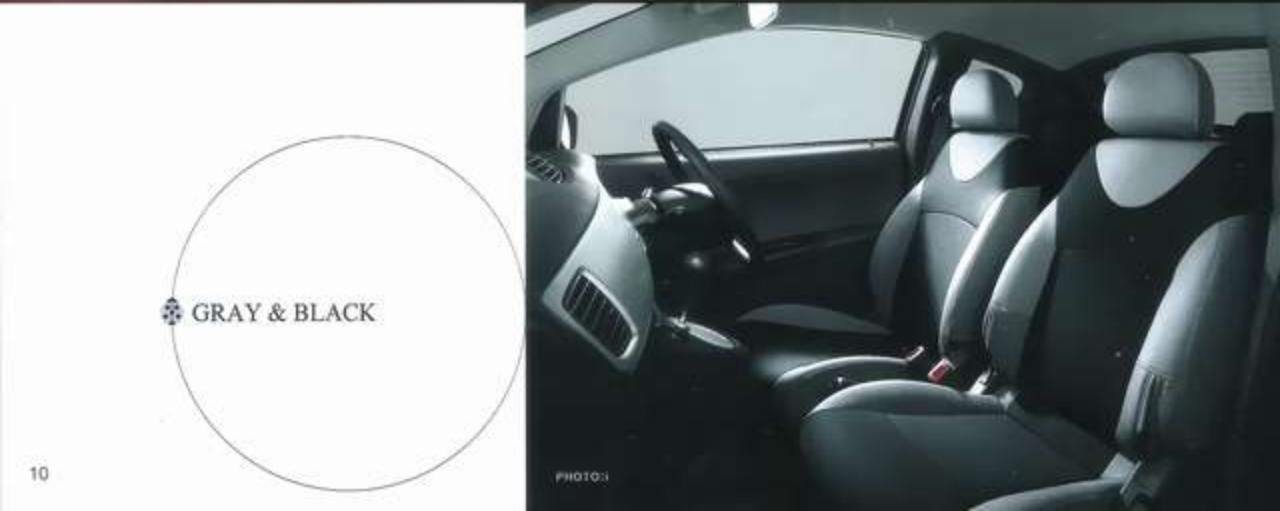


PHOTO: スバル・モーター・エンターテインメント



RED & BLACK

PHOTO:B



GRAY & BLACK

PHOTO:J

PHOTO:J5 ベリーレッド・メタリック、2灯式HID、レザー＆アルカンターラセレーションはメーカー選定オプション



① 独立3眼エレクトロルミネセントメーター
エンジンに接続させると、すべてのメーターの針が点灯。一度MAXまで振り切ってから再びゼロに回り、特別な気分を高めます。

② アンサーバック機能付電波式リモコンドアロック
(ハザードランプ&オフディレイル&ルームランプ連動)
ハザードランプの点滅で機能的に操作を確認できます。
アンロック後は一定時間ルームランプが点灯します。

③ マルチリフレクターヘッドライト
(ヘッドランプレベライザー〈マニュアル付〉)
明るく遠くまで照らすので、ドライブも安心です。

④ 2灯式HID (ヘッドランプレベライザー〈オート〉付)
無視難の広い照射性のプロジェクトタイプ。
ハイビームととも、明るく狭やういLEDを採用しています。
(S、Rにメーカー設置オプション)

⑤ フロントドアUVカットガラス
紫外線からお肌を守ります。

⑥ UVカット機能付染色ガラス
(リヤクォーター・リヤゲート)
車内のプライバシーをガードするほか、空調効果も高まります。

⑦ インパネシャワーライト (運転席&助手席)
カウルホルダーやインパネポケットを照らします。
(S、Rに標準装備)

⑧ 運転席&助手席パニティミラー (照明付)
サンバイザーに鏡をご用意。照明はルーフに設置されているので、
表示しなく快適です。

⑨ 運転席シートリフター (ダイヤル式)
乗車に合ったシートポジションに調整できます。

⑩ カップホルダー
インストルメントパネルの左右に2つ、フロントコンソールに2つ用意
しています。

⑪ ISO FIX*チャイルドシート
& テザーアンカー対応構造 (リヤ座席)
チャイルドシートが簡単に操作で確実に装着できるISO FIX&テザー
アンカー対応としています。

■チャイルドシートは助手席側の後座のみ取付可能です。■チャイルドシートを
取付けるには、助手席の両側を折りたたみ、シートを前後向きで固定して
ください。助手席の両側に固定されていることを確認してください。
※2014年1月より「自動車安全基準」が改正されたため、使用できるのは
ISO FIXとリヤシートとして指定されたチャイルドシートのみです。このFIXチャ
イルドシートの2点固定では、ISO FIX用アンカーベースシート(「ダイヤル」系
シート)、5点固定、肩出し用材料なし・肩出し用材料ありのチャイルドシート



SUPER SMALL CAR

安全性、環境、走り。すべてにおいて、小さいクルマの常識を変えたい。

目指したのは、軽くて強いカタチ。

SUBARU R1が目指したのは、燃費の良さなど小さくて軽いクルマのメリットを活かしながら、高いレベルの安全性を実現すること。そこで、そのカタチにもこだわりました。節のかたちは、衝撃を効率的に吸収・分散するため、軽くても衝撃に強いと言われます。SUBARU R1は、この節と同じワンモーションフォルムを採用。この滑らかなスタイリングは、美しさだけでなくその性能にも大きな役割を果たしているのです。



PHOTO:テスト車両による衝突試験(左:フルラップ前面、中央:側面、右:後面)

目指したのは、小さいのにハイレベルの走りが楽しめるクルマ。

ハンドル操作にキビキビと反応する。ショートホイールベースならではの楽しい走り。そして扱いやすい最小回転半径(1は4.4m、SとRは4.5m)が、狭い道でもスイスイと走れる気持ちよさを提供します。さらにSUBARU R1は、小さいクルマの得意分野である街中や狭い道はもちろん、ロングドライブでも気持ちよく走れることを目指しました。アクセルを踏んだ時の加速感やハンドル操作に対するスムーズな反応を追求。加えて、不快な騒音や振動を減らし、上質で快適なドライブを可能にしています。

自分だけでなく、歩行者のことも考えたカタチ。

フロントフードとエンジンとの間にクリアランスを確保。また、ワイパー取付部やフードヒンジなど、ボディ各部に衝撃吸収構造を採用。万一の衝突時の歩行者への衝撃軽減を図っています。

【主な衝撃吸収構造】

○バンパー・○フード・○ワイパー取付部・○フードヒンジ・○ヘッドランプ取付構造・○フェンダー



SHORT WHEEL BASE!!

PERFORMANCE

ハイレベルな走りをめざして。

S DOHC 16VALVEスーパーチャージャー

低回転から優れたレスポンスと力強さを発揮するスーパーチャージャーエンジン。47kW(64PS)の最高出力と低燃費、高い環境性能を同時に実現する。トータルバランスに優れたスポーツユニットです。

S 7速スポーツシフトi-CVT

セレクトレバーをナニに操作することで、マニュアル感覚のシフトアップ&ダウンが行える7速スポーツシフトi-CVT。「SPORT」ボタンを押すだけで、「D」レンジでもスポーティな走りが楽しめる「i-CVTスポーツモード」も搭載。アダプティブ制御によって、ドライバーのイメージに近い安定したコーナリングやブレーキングをサポートします。

R DOHC 16VALVE AVCS

効率よくパワーを引き出すAVCS(可変バルブタイミング)の採用などにより、いつでも気持ちよく加速できるパワーとスムーズなレスポンスを実現。i-CVTとの組み合わせにより、低燃費でよりなめらかな走りを可能にした4気筒DOHCエンジン。経済走行状態をインジケーターで知らせる、Info-ECO機能も採用しています。

I SOHC

静かでスムーズな走りや低燃費、排ガス性能を両立。エンジンパワーを効率よく引き出すi-CVTとの組み合わせにより、いつでもキビキビ気持ちのよい走りができます。

R I i-CVT

変速ショックがなく、走りもなめらか。よりスムーズな気持ちよい加速をめざしたi-CVT。登坂力、エンジンブレーキ力を細かくコントロールする登坂制御も備えているので、坂道でも余裕を持った走りを可能にします。さらに、走行状態に合わせて変速特性を制御し、発進時の出足のよさはもちろん、もっと速く走り、もっとゆっくり走りなど、状況に合わせた思い通りの走りを追求しています。i-CVT=Intelligent Continuously Variable Transmission【フル電子制御自動無段変速機】

4輪独立サスペンション&スタビライザー

4輪がしっかりと路面を捉える、ちょっと高級なメカニズムを採用。ストラットタワー部の剛性を高めることで、さらなる快適な乗り心地とスポーティな走りを実現しています。走行安定性を高めるフロントスタビライザーも装備しています。



7速スポーツシフトi-CVT(写真はレギュラーモデルのセンターセレクトレバー)

SAFETY

小さいクルマだからこそ、大きな安心を。

新開発力骨構造ボディ

軽量で強度の高いSUBARU独自の安全ボディ「新開発力骨構造ボディ」を採用。フレーム位置などを工夫することにより、前面、側面、後面のあらゆる衝突に対して、優れた衝突安全性を発揮することをめざしています。



新開発力骨構造ボディ



車重よりも強い車重率と剛性を考慮した、高いフレーム位置。

デュアルSRS^{※1}エアバッグ

万一の前面衝突時に、シートベルトとの組み合わせで前乗員の被害の軽減を図ります。



前面2エアバッグ

優れた安全性を持つフロントシート

事故による外傷で多くの割合を占める頭部の損傷を減らすことをめざしたシート構造。高剛性ヘッドレスト&スーパーステアととも、同側ヒンジを採用して剛性を高めた大型バックレストを採用。後面衝突時の衝撃による過度の後傾を防ぎ、首にかかる負担を軽減します。



ステア

フレーム

ヘッドレスト

同側ヒンジ

スーパーステア

大型バックレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト



ヘッドレスト

同側ヒンジ

スーパーステア

大型バックレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

高剛性ヘッドレスト

ECOLOGY

小さいクルマを選んだことを、誇りに思えるように。

優れた燃費性能

ボディの軽量化や、パワー効率のよいエンジンの搭載、i-CVTなどによって、平成22年度燃費基準+5%をクリア(SのAWD車は平成22年度燃費基準クリア)。Rは軽自動車クラストップ^{※2}の低燃費を実現しています。

※1 10・15モード燃費(国土交通省燃費) 平成17年11月現在
※2 軽自動車クラス(国土交通省燃費) 平成17年11月現在

排出ガス性能の低減

Rとは、平成17年排出ガス基準値からNOx(窒素酸化物)、NMHC(非メタン炭化水素)を75%低減した国土交通省平成17年基準排出ガス75%低減レベルの認可を受けています。

自動車取得税が軽減されるグリーン税制適用車です。

Rとはグリーン税制適用車です。ご購入時に「自動車取得税」の軽減措置が受けられます(平成18年3月31日届出分まで)。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リサイクルなど、さまざまな環境への配慮

生産から廃棄・リサイクルに至るまで、SUBARUはすべてのプロセスで環境に配慮したクルマづくりを行っています。

【主な環境配慮】

○PP統合材をインテリアやバンパーに多く使用しリサイクル性を向上○工場内で発生したリサイクル材をフロアパネルの防振材として使用○あらゆる部分にわたる軽体性の向上○燃料タンクなどのパーツに、環境負荷の高い鉛を使用することをやめ、鉛使用量を大幅に低減○生産段階における各種の取り組み(工場から排出される廃棄物をゼロレベルにする「ゼロエミッション工場」化/生産における省エネルギー化、水使用量の低減)

2WD車の10・15モード燃費

24km/ℓ (R)



22.5km/ℓ (I)



18.8km/ℓ (S)



(2WD車)

(AWD車)

Think. Feel. Drive.



www.subaru.co.jp

環境にやさしいエコドライブで、安全運転を。

※015R110 (2005.11)



R100

生版印刷に配合率100%大豆インク
を使用しています